



全国算数授業研究大会を終えて

1月18日に算数の全国大会が本校を会場校として開催されました。300人をゆうに超える教職員が参加されましたが、時間とお金を使ってでも学ぼうとする意欲のある先生方が、こんなにたくさんいることに心強さを感じました。

子どもたちには、3学期の始業式でこの大会のお知らせをするときにこんな話をしました。

「算数の全国大会って何するの？って思う人もいると思います。先生は毎日君たちがするお勉強は、みなさんのいいところを見つける時間だと思っています。こんなに素敵な考えを持っているんだな、難しくてもあきらめないで頑張ってるな、友達の話を優しく聞いているなとか、毎日の勉強の中にみんなのいいところがたくさん詰まっています。そんなみんなのいいところを見つけるには先生たちも勉強しないとイケません。みんなのいいところを今までよりももっとたくさん見つけるための全国大会です。」



3つのS



私は子どもたちのいいところをより引き出すための授業には「3つのS」が大切だと考えています。1つ目のSはService（サービス）。子どもたちがやってみたい、考えてみたいという教材をどれだけ準備し提供できるかという点です。2つ目のSはSkill（スキル）。準備した素材を生かし、子どもたちの思考をめぐらす展開力やコミュニケーション力も当てはまります。3つ目のSは、Soul（ソウル）。子どもたちの良さをどうにかして伸ばそうという思いです。この3つ目がとても大切だと思います。

料理で例えると、どんなにいい材料があって、いい道具がそろっていても、おいしいものを食べてほしいという思いが無ければ中身の薄い料理になるでしょう。

大会当日は全国から来られた先生方に授業をしていただきました。いつもの担任の先生ではなく（授業者には本校の職員も2人いました。）、ほとんど話したことの無い先生たちでしたが、子どもたちはいつもと違った雰囲気で行われる授業を楽しんでいたようです。「授業参観みたいで緊張したけど楽しかった。」授業で出されたおみくじの謎を家に帰って解いてきた人もいました。このような経験は一生に一度あるかないかのことでしょう。子どもたちも本校の職員も全国の熱意に触れることのできた貴重な時間になりました。



この大会を開催するにあたって、本校のPTAの皆様方にもご協力をいただきました。交通整理や駐車場案内、受付など、寒い中に様々な場面でご尽力をいただきました。本会がスムーズに運営できたのも皆様のおかげです。本当にありがとうございました。